

掛川市教育委員会定例会議事録

教育委員会事務局

会議の名称	平成25年3月掛川市教育委員会定例会			
場 所	教育委員会室	作 成 者	教育委員会教育政策課 川岸道子	
開催日時	平成25年3月27日(水) 午後1時30分から午後3時まで			
作成日時	平成25年4月10日(水)	次回開催日	平成25年4月24日(水)	
資 料	下記会議次第及び別紙添付資料のとおり			
出席者	委員長 委員長職務代理者 教育委員 教育委員 教育長 教育次長	小野恵美子 松下一徳 平松季哲 山本和子 浅井正人 水野雅文	教育政策課長 学務課長 学校教育課長 幼児教育課長 社会教育課長 図書館長 教育政策課室長 教育政策課指導主事 教育政策課調整庶務係長	鈴木利之 中根純一 佐藤嘉晃 松浦充 大川原淳哲 大石弘美 大倉照佳 小関昌典 川岸道子

【会議次第】

- 1 開会
- 2 2月教育委員会定例会議事録の承認について
- 3 3月(1日・21日)教育委員会臨時会議事録の承認について
- 4 教育長の報告
- 5 協議事項
 - (1) 学校評議員の委嘱について
 - (2) 幼稚園評議員の委嘱について
 - (3) 平成25年度掛川市の教育「人づくり構想かけがわ」について
 - (4) 掛川市中学校区学園化推進連絡協議会設置要綱の制定について
- 6 報告事項
 - (1) 平成24年度小中学校「学校評価」について
 - (2) 平成24年度小中学校「富士山の日」の取組・実施状況について
 - (3) 平成25年度児童生徒数及び学級数について
 - (4) 平成25年度校長・教頭一覧について
 - (5) 小中学校の現状報告について
 - (6) 平成24年度市立幼保園・幼稚園における学校評価について
 - (7) 平成24年度幼保園・幼稚園の「富士山の日」の取組報告について
 - (8) 平成25年度市立幼稚園児数及び保育園別入所児童数について
 - (9) 平成25年度公私立幼保園・幼稚園・保育園一覧について
 - (10) 平成24年度60歳の集い(耳順式)開催報告について
 - (11) 平成25年2月市議会定例会一般質問について
- 7 その他
 - (1) 次回定例会の日程等について
- 8 閉 会

【議決事項】

- 1 学校評議員の委嘱について

学校教育課長

任期は平成25年4月1日から1年間であり、上内田小で4名、第一小で6名、原田小で5名、西中学校で7名の推薦があり、どの学校の方々も適任であるという説明をした。審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

2 掛川市立幼稚園評議員の委嘱について

幼児教育課長

市内11園の評議員の委嘱であり、任期は平成25年4月1日から1年間であり、構成メンバーは、ほとんど再任であり、各園4名から7名であることの説明をした。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

3 平成25年度掛川市の教育「人づくり構想かけがわ」について

教育政策課指導主事

2月の定例会で説明したリーフレット資料と比較して大きな変更はないが、市民総参加による教育の振興に努める項目の中に「かけがわお茶の間宣言」の策定を加える事とした説明をした。また、冊子の「人づくり構想かけがわ」についても、「かけがわ教育の日」や「学園化構想」の中で重要な施策であるため「かけがわお茶の間宣言」の策定を第4章の基本目標・基本方針の中に加えることとした説明をした。また、「人づくり構想かけがわ」は、5年目を迎え、来年度は大幅な変更があるとの説明をした。

教育長意見：幼児教育課の項目の中に、新たに取り組むべき事として新しい風を吹き込む意味で「チャイルドアクティブプラン」を盛り込んだ方がよい。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

4 掛川市中学校区学園化推進連絡協議会設置要綱について

教育政策課指導主事

中学校区学園化構想の途中経過について、すべての委員が決定して動き出した中学校区もあり、多少進捗状況に差があるが、9中学校区は、おおむね動き出したという報告があった。設置要綱については、別紙資料のとおりであることの説明があり、審議を依頼した。

委員：旧掛川市内には、私立幼稚園が多いが、この構想に、参加可能であるか。

極力参加いただいた方がよいと思う。

事務局：公立と私立の違いがあり、制度的に歩調を合わせることが、難しい面もあるが声は掛けさせていただいている。要望があれば参加していただくことは可能である。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

【報告事項】

1 平成24年度小中学校「学校評価」について

学校教育課長

目的については、評価を通し学校運営の改善を図るものであること。教職員を除いた評価関係者からの評価及び各学校自らの評価を公表するものであること。ほとんどの学校が、おおむね良好であることの報告をした。

2 平成24年度小中学校「富士山の日」の取組・実施状況について

学校教育課長

市内の小中学校の取組件数は、小学校が136件、中学校は、24件であった。取組の中身は

富士山のクイズを作成し、たよりに載せて全校児童に配付したり、音楽の授業で富士山の曲を聴いたりした事例の報告をした。

3 平成25年度児童生徒数及び学級数について

学校教育課長

平成25年度の小学校、中学校別の人数の一覧であり、小学校の児童数の総数が、6494名、中学校の生徒の総数が、3116名であることの説明をした。

委員：普通学級と実学級の違いは何か。

学校教育課長：教職員の定数の関係でこのような書き方をしている訳であるが、普通学級については、文部科学省が指定している40人学級でカウントした場合、実学級については、静岡式35人学級でカウントした場合で、実際の学級の数という旨の説明をした。

委員：人数が少なくてクラス替えができない単学級の学校が幾つかあり、課題であると思う。

学校教育課長：単学級の学校の特性を活かすべきなのか、全体を豊かにしていくために統廃合をしていくのか考えていく必要がある。

委員：私は、日坂小学校出身であり、約30人の単学級であり、今考えればよかったと思うが、10人程度の単学級でいじめがあった場合は、大変だと思う。

委員：日坂小学校、東山口小、倉真小等小規模校の統廃合及びスクールバス対応について、実現は可能か。

委員長：長期的課題とする

4 平成25年度校長・教頭一覧について

学校教育課長

校長で7名、教頭で2名の退職があり、他には、若干の異動があったことの説明をした。

5 小中学校の現状報告について

学校教育課長

問題行動及び不登校が、多少増えているが、概ね問題なし。いじめについても、数件あるが、大きな問題になるものはない旨の説明をした。

6 平成24年度市立幼保園・幼稚園における学校評価について

幼児教育課長

おおむね良好であった。課題としては、地域との連携や保護者への情報発信等が挙げられる。平成24年度の市立幼稚園における保護者の園運営満足度調査の結果、概ね満足しているという割合が、23年度の97%から98%に上昇したという説明をした。

7 平成24年度幼保園・幼稚園の「富士山の日」の取組報告について

幼児教育課長

市内の幼保園1園、幼稚園10園の取組内容の報告をした。

8 平成25年度市立幼稚園児数及び保育園別入所児童数について

幼児教育課長

公立幼稚園11園と私立幼稚園7園及び保育園の定員と入園見込み数及び入園率の説明をした。

委員：この資料では、待機児童数は無しということによろしいですか。

幼児教育課長：この表では、定員に対し入園者の数を表示してあります。待機児童につきましては、正式には出しておりませんが、全体でおおむね65名、国定義で

11名であります。数値に関しましては、流動的であります。

9 平成25年度公私立幼保園・幼稚園・保育園一覧について

幼児教育課長

資料により、市立幼稚園及び私立幼保園、私立保育園、私立幼稚園の園名、所在地、園長等の説明をした。

10 平成24年度60歳の集い（耳順式）開催報告について

社会教育課長

資料により、以下のとおり説明をした。平成25年2月24日の日曜日に市内のホテルで開催され、1809名の対象者に対し出席者は、344名であり、昨年に比べ対象者は約80名減少したが出席者は、約90名増え、徐々に増える傾向にある。欠席の理由で1番多かったのは、仕事であった。内容については、第1部が式典、第2部が情報交換会を実施した。

11 平成25年2月市議会定例会一般質問について

教育次長

2月市議会定例会一般質問についての説明をした。質問議員9名のうち5名が、教育関係の質問であり、その5名の議員の質問及び回答について説明をした。